



## 「未来へ向かって」 NPJ 認定トレーナー 木村 弘美

私は現在の職場に入職して32年になります。入職後の14年間は保育所に、その後は子育て支援拠点事業の専任となり、地域福祉を担当し18年目を迎えました。この対人援助業務の中では様々な出会いがありました。大変な思いで子育てをしてきたお母さん、孤立した中にあって一人で頑張ってきたお母さん…。このひとつひとつの出会いから、子育てについて考え、共に乗り越えることで、人の優しさや温もり、生きる力を頂いてきました。しかし一方では、幾多の問題にも直面しました。これまでの私は、良い仕事をしたい、仕事における失敗は絶対許されない等、完全な自分を求めています。うまくいかないことや周囲からどのように見られているかが気になり、そのことにとらわれ、ネガティブな思考や感情の渦の中のみ込まれて、そこから出られなくなる悪循環を繰り返していたのです。こんな私でしたので、事あるごとに自責の念が強く落ち込む日々が続いていました。当時を振り返ると、自分の子育てや家族との関係においても同じようなことが起きていたような気がします。

そのような時に、カウンセリングの学びとの出会いがありました。当初は自分自身と向き合うための時間でしたが、必然的に仕事への向き合い方においても変化がありました。またそれは、子育て支援センターのプログラム「子育て中の親のグループ懇談会」への取り組みへと繋がって行きました。グループが安全な場所であるためにはどうあることが大切か、また、ファシリテーターとして自分はどうあるべきか等について研鑽を重ねる日々でした。グループの参加者から得るものは大きく、エンパワーされていく参加者の姿を感じていました。そのような中でNPマスタートレーナーの伊志嶺先生のお話を伺う機会があり、このNPプログラムの実践へと繋がったのです。何より先生からは、手法だけに走らず手法を用いるファシリテーターがどうあることが大切かという点について大きく影響を受けました。

またテキストの中にある「完璧な人はいません。完璧な親もいなければ、完璧な子どももないのです。私たちにできるのは最善をつくすことだけであり、時には助けてもらうことも必要なのです」「人は親として生まれてくるわけではありません。私たちは皆、周りの人に助けてもらいながら、親になっていくのです」という言葉に出会った時、自分の中の小さなこだわりが和らいでいったことを今でも覚えています。

2006年から子育て支援センター愛の泉ふれあいホームにおいて取り組み始めたこのNPプログラムも、今年度20期目の開催を迎えました。また、これ迄の参加者が実行委員会組織を立ち上げ、「ぼとふ」(NPプログラム参加者同窓会)を年間1~2回継続的に開催しています。この「ぼとふ」は、「今の私やちょっと先の私」について考える機会になっているようです。子育ての悩みは変わっていくものですが、NPプログラムへの参加をきっかけに、このピアサポートの関係が地域に根づき、共に支え合う関係が生まれています。

現在加須市におけるNPプログラムは、加須市子ども局子育て支援課と共に、20名のファシリテーターが「NPの会サラダボウル」という研究会組織を立ち上げ、各地域におけるNPプログラムの実践や普及に取り組みながら、質の担保に向けての学習会を開催しています。また、市内各子育て支援センターや関係機関とのネットワークの構築を図っています。今後も、ピアサポートの関係の中でファシリテーター自身が支えられる場所として、この「NPの会サラダボウル」の活動が展開していくことを願っています。

今後もNPとともに、人と人が繋がりながら互いを信じ、辛さや大変さ、そして、子育ての喜びを共有出来る地域社会を目指し、未来へ向かって歩んでいきたいと思えます。

東京トボスの会運営委員が中心となり、「全国NPプログラムファシリテーター交流会～みんなで学んで地域で活かそう～」を開催予定です。ご都合がよろしければ、是非お越しくださいませ。

日程：2015年6月14日(日) 10:30受付 11:00開会 16:30閉会

会場：北とびあ14階スカイホール(東京都北区王子、JR線・地下鉄南北線 王子駅下車すぐ) 参加費：1,000円



## レインボウ・ファシリテーター養成の新しい取り組み

レインボウ・ジャパン代表 檀田 紋子

前号「おたより」で、レインボウ・プログラム実施から15年の節目にあたって、日本の実情に適った新たな活動を進めたいという思いを記しましたがなかなか具現化できませんでした。この度下記の「レインボウ・ファシリテーター&コーディネーター養成講座」を3月中旬に開催し、漸くその第一歩を踏み出しました。(内容は文末の表に示しました。)

レインボウは、これまで児童養護施設の小中学生を中心に実施してきたためにファシリテーター養成講座は定例的に開催せず、原則としてこのプログラムを実践するサイト(実施先・場所)が決まってから、随時そのサイトの実践者に対して出張養成講座を開催してきました。今年度の養成講座はレインボウ・プログラムに関心のある何方でも受講できる初めての一般講座でした。しかし今回は以下に述べる事情から受講者を一般に募らず、ノウバディズ・パーフェクト(NP)ファシリテーションの知識や技術をもったNPファシリテーターの方を中心に声をかけて開催にいたしました。

「レインボウ」はアメリカに本部のある国際的非営利組織ですが、子ども家庭リソースセンターと「レインボウ」との関係はカナダでの出会いから始まりました。センターの前身である「カナダの子育て家庭支援研究会」の設立メンバーである伊志嶺カナダ研究者たちが、

1992年オンタリオ州・ピーターボロ市のビーチグローブ子どもセンターを訪れた時に小学校低学年クラスの子どもたちの副読本として使われていたレインボウ・ジャーナル1と初めて出会いました。このセンターの子どもたちは親の離婚や虐待などによって情緒や行動上に医学的、発達的な問題を抱えた子どもたちです。レインボウは子どもたちが心の安らぎや自信を得て、自分を支える力をつけていくことができるように幼い子どもたちの心に語りかけます。この世にたった一人の自分がいて、喜んだり悲しんだりする「感情」をもっている。悲しいことも起きるけれど、自分の気持ちを伝えてみよう…と。家族にどんな変化が起こっても、あなたはだいじな存在。これまでと同じ「特別な人」なんだ…と。

「レインボウ」は1983年創設されてから全米各州および世界18か国で300万人以上の子どもたちに実践されてきましたが、とりわけ「レインボウ・カナダ」は確立したボランティア体制のもとで活動を継続しています。子どもがよい自己像をもって、友だちや地域の中で育ち合えるように援助するというカナダの子育ての精神に通じるものがあるからでしょう。

ところで今、日本の子どもたちの状況を顧みるとき、子どもたちは自分を信頼し、自分は自分でいいのだと感じているでしょうか？あなたは、あなたでいいのだというメッセージを受けとっているでしょうか？自分自身への信頼感や、自尊感情は自分だけでもてるようにはなりません。だれかに支えられ、認められてはじめてもてるようになるものだとおもいます。私たちはレインボウの温かいメッセージを日本の子どもたちにこれからも伝え続けていきたいとあらためて感じています。

今回の養成講座には保育士、小学校スクールカウンセラー、学童保育指導員、児童相談所相談員、子育てアドバイザーや支援者、主任児童委員、その他、多様な立場の方々が埼玉、千葉、東京、神奈川、長野、静岡…など多地域から参集して、皆さんそれぞれの貴重な意見を交わし、熱意のある学び合いをいたしました。サポートを必要としている多くの子どもたちにこのプログラムを届けるためのさまざまな課題も見えてきました。子ども家庭リソースセンターとして新たに一般向けに展開するために開催した第1回養成講座を修了し登録ファシリテーターとなられた皆さん方のご協力を得ながら課題解決に向けて努めていきたいと思えます。また今回の成果を踏まえて次年度以降は、入門講座、資格認定のための養成講座、修了後のフォローアップ講座や学習会などを定例的に開催していく方向で検討しております。多くの皆さま方のご協力よろしくお願いたします。

(参照：「人権と支え合いを学ぶ子どもたち」 サラダボウルの国カナダ 伊志嶺美津子ほか編著 ひとなる書房)

#### レインボウ・ファシリテーター&コーディネーター養成講座 ～喪失体験をのりこえる子どもたちへの援助～

日時：2015年3月14日(土) 10:00～17:00 (ファシリテーター・トレーニング)

2015年3月15日(日) 9:30～12:30 (コーディネーター・トレーニング)

対象：保育所・幼稚園・小中学校・児童養護施設・児童館・学童保育・地域子育て支援拠点…等々で子どもに関わっている方々

会場：子ども家庭リソースセンター

講師：櫃田紋子 伊志嶺美津子 越智三佳

定員：10名

(開講済み)



## 「"気持ち"」

シルバー・ライニングプロジェクト代表 永田 陽子

阪神淡路大震災から20年目の今年、様々な報道がされました。震災の年(1996年)に生まれた人が成人となるほどの長い年月です。生活は整っても、被災した方たちの心は未だ当時に止まったままであるとの内容が強く心に残りました。親しい方や大切なものとの別れは、人々にとって計り知れない程の影響がある事がわかります。阪神淡路大震災の約4倍もの犠牲者を出した東日本大震災の被災者に思いを馳せる時、果てしもない道のりに見えます。

2014年度1学期に熊町小学校8名、2学期に大野小学校の16名のスマイルタイムが無事修了しました。例年のように、4～6名の2年生に2～3名のファシリテーターの手厚い見守りの中でプログラムが進行しました。今年度もスマイルタイムは子ども達にとって楽しみな時間になっていました。保護者からは「前日から、スマイルタイムを楽しみにしていました」「スマイルタイムの日には、いつもよりたくさん話したり、笑顔が増えていた」などお子様の様子が寄せられました。

熊町小の子ども達は静かな雰囲気でしたが、毎回スマイルタイムの歌を歌うことや読み聞かせも楽しみにしていました。倍の人数の大野小は、とても元気な子ども達でした。スマイルタイムでは、自分の気持ちに気づき、その適切な表現の仕方を学ぶとの課題をゲームや書く、話す、聞くなど、様々な形でします。子ども達は思い思いの姿で取り組んでいました。「やりたくない」「やりたい」を明言する子、感じていても言わない子もいました。けれども、言っている子にちょっと憧れを持ち「いつまでも相棒でいようね」とメッセージを送っていました。

スマイルタイムは「日常の中の非日常」とも言えます。非日常のスマイルタイムで表現したことはファシリテーターの方たちに受け止めてもらえます。安心な環境で自分を尊重された体験は、不思議なことに、より良い方向に行動する力となります。この「非日常」は「日常」

の学校生活にも、よい影響を及ぼしていました。スマイルタイムの最中には、ファシリテーターが困るような乱暴な言葉を言っていた子が、学校生活では優しい言葉を言うようになりました。やる前から「つまらない」「やらない」と逃げていた子がいろいろな事に取り組むようになり、周囲からも認められ達成感を感じているとのこと。仲間意識ができ、強くなった友だちとのつながりが功を奏したのでしょうか。友達の一言がきっかけで学校を休まなくなったことも起きたそうです。

4年間で156名の子ども達がファシリテーターの方々に支えられました。長い方は4年間も活動をしてくださいました。リソースセンターの私たちも、大熊町の皆様からたくさんの支えと学びを頂きました。心よりファシリテーターの皆様に感謝申し上げます。

来年度は復興住宅や借り上げの住居等が準備され、多くの方が会津若松市からいわき市に転居されます。今まで子ども達に付き添ってくださったファシリテーターの方たちの多くも転居されます。やっと慣れた会津若松での生活から再び新たな生活環境に慣れ、近隣の関係も作り直していかなければなりません。これからの生活がお一人おひとりにとって、安心で安定した生活に一日も早くなりますようお祈りいたします。

転居に伴い小学校の生徒数が減少し、来年度は両校の1,2年生合同でスマイルタイムを実施することになりました。教育長武内敏英先生の「最後の一人の生徒まで、よい教育をしていく」との力強いお言葉が、百年以上続いた大熊町の教育の歴史を重く感じさせます。

インフォメーション

## 「 information 」 子ども家庭リソースセンターからのお知らせ



### 2015年度スケジュール

1. NPプレプログラム オリエンテーション 年2回  
2015/4/19(日)、2015/10/18(日) 時間は両日ともに13:00~16:00 受講料2,000円 募集中
2. NPファシリテーター養成講座 年4回 受講生募集中  
(1)通常講座 第1期 2015/5/16(土),17(日),23(土),24(日) 講師:伊志嶺 美津子 第2期 2015/8/22(土),23(日),29(土),30(日) 講師:永田 陽子  
第3期 2015/11/22(日),23(月祝),28(土),29(日) 講師:福川 須美 第4期 2016/2/20(土),21(日),27(土),28(日) 講師:未定  
(2)出張講座 2014年度は、宮城県石巻市、秋田県秋田市、などで開催  
※時間はすべて前半2日間で9:30~16:30、後半2日間で9:30~17:00 会場は子ども家庭リソースセンター。  
受講料70,000円(テキスト代2,000円および教材費は別) お申し込みはCFRC事務局まで。
3. NPアフタープログラム 年2回 受講生募集中  
第1回2015/7/26(日) 第2回 2016/2/14(日)  
時間は両日ともに、フォローアップ研修は9:30~12:30、ステップアップ研修は13:30~16:30 会場は子ども家庭リソースセンター。受講料3,000円  
※NPプログラム実施にプランク(~2年間)のある方は、特にご受講をおすすめします。お申し込みはCFRC事務局まで。
4. トポスの会 年4回  
2015年6月、9月、12月、2016年3月、に開催。 各回とも日曜日。 時間は13:00~16:00 会場は子ども家庭リソースセンター。  
※トポスの会にご参加希望の方、ご新規入会希望の方は、CFRC事務局まで。

ご寄付をいただきました。ありがとうございました。(敬称略 順不同 2014年)

斉藤 まり子 金田 利子 横山 万里 福川 須美 檀田 紋子 伊志嶺 美津子 菅野 陽子 永田 陽子

【寄付のお願い】被災児の心のサポートプログラム実施のために、ぬいぐるみや材料費、被災地へ出向く交通費等が必要です。皆様からのご援助をお願いいたします。<お振り込み先> ゆうちょ銀行 口座記号・番号 00130-4-651522 加入者名: NPO子ども家庭リソースセンター

### NP交流会開催のお知らせ

東京トポスの会運営委員が中心となり、「全国NPプログラムファシリテーター交流会~みんなで学んで地域で活かそう~」を開催予定です。ご都合がよろしければ、是非お越しくださいませ。カナダの情報、父親支援、感情の絵本などを展示します。

日程: 2015年6月14日(日) 10:30受付 11:00開会 16:30閉会 会場: 北とびあ(東京都北区王子) 参加費: 1,000円

~ ご質問、お問い合わせ等は、下記のCFRC事務局まで ~



## NPO法人 子ども家庭リソースセンター (CFRC)

- 所在地 〒114-0002 東京都北区王子 2-18-12 ドムス王子 1階
- TEL/FAX 03-6755-2855 ○E-mail info@kodomokatei.com
- URL <http://kodomokatei.com/>
- 交通機関 JR線・地下鉄南北線「王子駅」下車 徒歩7分

○編集後記 余りにショックな事件でしたが「川崎中1殺害事件」に日本全土が震撼とさせられました。私たちの活動が少しでも、子どもたちから信頼される大人の社会を作っていけるよう願っています。(S)

編集・発行: NPO法人子ども家庭リソースセンター  
発行日: 2015年3月20日

